

## 戸田建設第54回土木技術研究発表会を開催

—技術開発や施工事例14件を発表—

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、11月27日(金)、東京都中央区の本社会議室において、第54回土木技術研究発表会を開催しました。技術提携を結んでいる西松建設(株)(社長:近藤晴貞)からの事例を含め3つのセッションに分かれ合計14件の最新の施工技術などを発表しました。

発表内容は、技術開発関連セッションで4件、トンネル関連技術セッションで5件、施工関連技術セッションで5件となりました。また、西松建設からも15名が参加し、2件の発表を行いました。

同発表会は、土木技術の向上と技術の継承および技術職員のレベルアップを目的として毎年開催しており、本社会場のほか、テレビ会議システムで地方支店の会議室を中継で結び、総勢260名の役職員が参加しました。

また、新しい取り組みとして、研究発表に先立ち、社員間の情報共有、今後の活動推進への理解を深めることを目的に、社内に設置されている技術開発に関するワーキンググループの活動状況などの報告が行われました。

開催にあたり社長からは「生産技術の強靱化は喫緊の課題である。徹底して議論し、推進してほしい」との挨拶に続き、「様々な経営的な数字に強くなること」、「問題に対しては過剰なほどに反応して真摯に対応すること」、「フットワークを軽く、すぐに行動すること」の3つを実行してほしいこととして挙げて社員に訴えました。

引き続き秋場土木本部長からは、具体事例を挙げ「戸田の土木技術は、大きな転換期に入っていることを感じて頑張ってもらいたい」と社員に伝達しました。



写真1 今井社長による挨拶



写真2 秋場土木本部長による挨拶